

教科(科目)	英語（論理・表現Ⅱ）	単位数	2単位	学年(コース)	5学年
使用教科書	数研出版『EARTHRISE Logic and Expression II Advanced』				
副教材等	数研出版『EARTHRISE アースライズ総合英語』、『(教科書準拠)ワークブック』 いっずな書店『Vintage 4th Edition』				

1 学習目標

<p>話すこと [やり取り], 話すこと [発表], 書くことの活動を通じ、以下の資質・能力を育成することを目指す。</p> <p>(1) 話すこと [やり取り]: 日常的・社会的な話題について、多様な語句や文を用いたり、論理の構成や展開を工夫し、一定の支援を受けながら、情報や考え、気持ちなどを詳しく伝え合ったり、立場や状況が異なる相手と交渉したりすることができる。</p> <p>(2) 話すこと [発表]: 日常的・社会的な話題について、多様な語句や文を用いたり、事前の準備などにおいて、論理の構成や展開を工夫し、一定の支援を受けながら、情報や考え、気持ちなどを詳しく伝えたりすることができる。</p> <p>(3) 書くこと: 日常的・社会的な話題について、多様な語句や文を用いたり、事前の準備などにおいて、論理の構成や展開を工夫し、一定の支援を受けながら、情報や考え、気持ちなどを複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えたりすることができる。</p>
--

2 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	<p>～卒業までにこのような資質・能力を育みます～</p> <p>①幅広い教養を身につけ、他者と協働しながら、粘り強く挑戦し続け、地域社会や国際社会に貢献する意欲や資質・能力を備えた人材を育成します。</p> <p>②主体的、自律的な人間として、行動力にあふれ、自他を大切にする思いやりの心とリーダーシップを兼ね備えた人材を育成します。</p> <p>③主体的に学ぶ力を身に付け、社会における課題等に気づき、創意工夫、試行錯誤を重ね、その解決のために行動できる人材を育成します。</p>
カリキュラム・ポリシー	<p>～上記の資質・能力を育成するため、発達段階に応じて1・2年を「基礎の充実」、3・4年を「発展・挑戦」、5・6年を「自律・深化」に分け、学習内容の確かな定着、主体的で対話的な学習態度の育成を図りながら次の教育活動を展開します～</p> <p>①総合的な応用力、学問への探究心を育むとともに、知識や技能を活用するための思考力、判断力、表現力を育成する課題解決型の授業を実施します。</p> <p>②他者とコミュニケーションを取りながら、地域社会や我が国の魅力を国内外に発信できる知識・技能等を高めるための学習活動を実施します。</p> <p>③身に付けた力を社会で発揮するため、地域貢献活動、社会体験活動への参加を推進します。</p> <p>④自己肯定感を高め、他者を思いやり、多様性を理解する態度等を育成するため、系統的な特別活動や学年を超えた多様な体験活動を実施します。</p>

3 指導の重点

<p>進学希望者が多いことから、</p> <p>① 英語を読んだり、書いたり、聞いたり、話したりする基礎となる英語の特徴やきまりについての理解を目指します。</p> <p>② ①で学んだことと言語活動を効果的に関連付け、実際のコミュニケーションにおいて適切に活用できる技能を身につけることを目指します。</p> <p>③ 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手などに配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を目指します。</p> <p>④ 以上の資質や技能を活用しながら、入試や英語検定やGTEC等に対応できる英語力の基礎を身につけます。</p>

4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
-------	----------	---------------

<ul style="list-style-type: none"> 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。 	<p>コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。</p>	<p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</p>
--	--	---

5 評価規準と評価方法

	評価は次の観点から行います。		
	知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。 	<p>コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。</p>	<p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</p>
評価方法	<p>以上の観点を踏まえ、</p> <ul style="list-style-type: none"> ペーパーテストの分析 授業中の発言、発表や討論への取組の観察 パフォーマンステストの分析 振り返りシートの記述の分析 週末課題の取組 <p>などから、評価します。</p>	<p>以上の観点を踏まえ、</p> <ul style="list-style-type: none"> ペーパーテストの分析 授業中の発言、発表や討論への取組の観察 レポートやワークシート、意見文、提出物などの内容の確認 振り返りシートの記述の分析 週末課題の取組 <p>などから、評価します。</p>	<p>以上の観点を踏まえ、</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業中の発言、発表や討論への取組の観察 レポートやワークシート、提出物などの内容の確認 振り返りシートの記述の分析 週末課題の取組 <p>などから、評価します。</p>

6 学習計画

月	単元名	教材名	学習活動(指導内容)	授業時数	評価方法
4	Part1 Lesson 1 Have you ever experienced any cultural differences? (文化)	さまざまな主語の形	<p>言語材料:doing(動名詞)/It is ~ to do /主語が長い場合</p> <p>S(発・や):学んだ表現を使って、日本の習慣について発表する。また、他の生徒の発表に対し質問ができる</p> <p>W:学んだ表現を使って、教科書に登場した国の習慣について70語で書く</p>	2	発表の様子 ワークシート
	Part1 Lesson 2 Where do you usually buy things? (買い物)	さまざまな動詞の形	<p>言語材料:can / should / don't have to / have[had] been doing</p> <p>S(発・や):学んだ表現を使って、自分の買い物について簡単に話したり質問したりできる</p> <p>W:学んだ表現を使って、「最近買ったもの」についてのカスタマーレビューを70語で書く</p>	4	発表の様子 振り返りシート ワークシート・週末課題
5	Part1 Lesson 3 International events and cultural exchange (国際交流・ボランティア)	名詞のはたらきをする表現	<p>言語材料:to do[不定詞] / doing[動名詞] / that / whether / what+S+V</p> <p>S(発・や):学んだ表現を使って、文化祭の日にしたいことについて自分の考えを話したり、質問したりできる</p> <p>W:学んだ表現を使って、ボランティア活動への応募のための自己PRを80語で書く</p>	4	発表の様子 振り返りシート ワークシート・週末課題
6	Part1 Lesson 4 How have you been lately? (日常生活・将来)	形容詞のはたらきをする表現	<p>言語材料:who, that[関係代名詞] /doing, done[分詞] /to do[不定詞]</p> <p>S(発・や):自分の写真を1枚用意し、自分のことについて話し、他の人には質問することができる</p> <p>S(発):学んだ表現を使って自分の性格や将来について80語で書く</p>	4	発表の様子 振り返りシート ワークシート・週末課題

	Part1 Lesson 5 How do you watch movies and things? (エンターテインメント)	副詞のはたらきをする表現	言語材料:<前置詞+名詞>/ to do[不定詞]/if.../ Doing...[分詞構文] S(発・や):動画や映画を見るために自分が使用する機器(タブレットやスマホなのかテレビなのか)について口頭でやりとりができる W:学んだ表現を使って、自分の好きな映画やテレビ番組、または本についてのレビューを80語で書く	4	発表の様子 振り返りシート ワークシート・週末課題
	前期中間考査				ペーパーテスト パフォーマンステスト
	Part2 Lesson 1 Making life better (社会・生活)	感情を表す	言語材料:It's nice of you to... /I'm really sorry... / My complaint is that... S(や・発):学んだ表現を使って、体育の時間に足をねんざしたという状況設定でのロールプレイができる W:学んだ表現を使って、地域または学校への不満を80語で書く	4	発表の様子 振り返りシート ワークシート・週末課題
7	Part2 Lesson 2 Good eating habits (食習慣)	助言する・忠告する/必要・義務を表す	言語材料:You should... / Why don't you...? / ought to... / need to... S(や・発):学んだ表現を使って、その日の朝食についてやりとりのロールプレイができる W:学んだ表現を使って、日本のフードロスとゴミ問題について80語で書く	4	発表の様子 振り返りシート ワークシート・週末課題
	Part2 Lesson 3 Visiting a new place (旅行)	勧誘する・提案する/依頼する	言語材料:Why don't we...? / How about doing...? / Could you...? S(や・発):学んだ表現を使って、自分の選んだツアー旅行についての会話のロールプレイができる W:学んだ表現を使って、自分の訪れたい国にいる人に、その国について質問するeメールを80語で書く	4	発表の様子 振り返りシート ワークシート・週末課題
9	Part2 Lesson 4 Where would you like to live in the future? (暮らす場所)	賛成する/反対する	言語材料:I agree with... /That's not for me. / It may be true... , but ... S(や・発):学んだ表現を使って、都会か田舎のどちらに住みたいかについて口頭でやりとりする W:学んだ表現を使って、外国に住むことに賛成する教科書の意見について80語で書く	4	発表の様子 振り返りシート ワークシート・週末課題
	前期期末考査				ペーパーテスト パフォーマンステスト
10	スピーチをしてみよう	スピーチ	言語材料:英語のパラグラフの構成 W:ブレーションディングで話す内容を決め、主題文、支持文、結論文のアウトラインに基づいて自分の考えを文章にする。 S:(発):話すスピード、声の大きさ、姿勢、アイコンタクト、表情などに留意しながら話す。	4	発表の様子
	Part2 Lesson 5 Which candidate is the right person? (選挙)	意見を述べる/希望を述べる	言語材料:It seems to me that... / In my opinion, / I would like to... S(や・発):学んだ表現を使って、教科書に登場する選挙の候補者について、意見をやりとりする W:学んだ表現を使って、自分が生徒会の役員に立候補するための演説の原稿を80語で書く	4	発表の様子 振り返りシート ワークシート・週末課題

	Part3 Lesson 1 Advertising a language school (外国語学習)	パラグラフの構成	言語材料:パラグラフの構成(導入文・主題文・支持文・詳細文・結論文) S(発・や):チラシに載っているデータを読み取り、ターゲットのグループを決めて外国語学習レッスンを受けるよう、約1分で説得する W:主文や支持文・結論文などをしっかり考え、外国語学習レッスンの売り込み文句を70~80語で書く	4	発表の様子 振り返りシート ワークシート・週末課題
11	Part3 Lesson 2 Inventions and discoveries (発明)	例示・列挙	言語材料:例示・列挙を示す語句 (for example/ such as / In addition to など) S(発):発明品がいかに有益かを約1分でプレゼンする。 W:「これまでの科学発明の中で最も素晴らしいものは何か」に対する答えを雑誌の編集者にeメールで60~80語で書く	4	発表の様子 振り返りシート ワークシート・週末課題
	後期中間考査				ペーパーテスト パフォーマンステスト
	Part3 Lesson 3 How people use their smartphones (スマートフォン)	比較・対照	言語材料:比較・対照を示す語句 (Similarly / as / Unlike など) S(発・や):比較や対照の表現を使って、自らのスマートフォンの使い方について、口頭でやりとりする W:高校の授業でスマートフォンを使うことについての意見文を70~90語で書く	4	発表の様子 振り返りシート ワークシート・週末課題
12	Part3 Lesson 4 Our accommodation in Okinawa (宿泊先の条件)	原因・結果	言語材料:原因・結果を示す語句 (because / so / That's why など) S(発):原因・結果を示す語句を使って、街中のホテルに泊まる利点と海岸のホテルに泊まる利点について約1分で述べる W:街中のホテルか海岸のホテルかどちらに泊まりたいかについて、eメールの返事を70~90語で書く	4	発表の様子 振り返りシート ワークシート・週末課題
1	Part3 Lesson 5 Getting ready for high school exams (勉強の仕方)	時間的順序・手順	言語材料:時間的順序や手順を伝える表現 (Then/Next/Finally/After that など) S(や):ある教科についてテストへの準備をどのようにするかをやりとりする S(発):テストへの準備の仕方について、約1分でプレゼンする W:自分のテストへの準備の仕方について、eメールで70~90語で返事を書く	4	発表の様子 発表の様子 振り返りシート ワークシート・週末課題
2	プレゼンテーションをしてみよう	3 プレゼンテーション	言語材料:英語のパラグラフの構成 W:十分な情報を使って主題文、支持文、結論文で分かりやすく、論点や根拠が明確な文章を作成し、スライドなどの視覚的資料を活用して効果的に行う。 S:(発):話すスピード、声のトーンや大きさ、姿勢、ジェスチャー、アイコンタクト、表情などに留意しながら話す。	3	発表の様子
	ディベートをしてみよう	ディベート	言語材料:ディベートの流れ、ディベートでの立論(肯定派、否定派)の仕方 S(や・発):ディベートの流れや肯定派での立論の仕方を理解し、司会、討論者、審判など役割に分かれて実際にディベートを行う。	4	発表の様子
	後期期末考査				ペーパーテスト パフォーマンステスト
3	ディスカッションをしてみよう	ディスカッション	言語材料:ディスカッションの流れ、ディスカッションでよく使われる表現 ディスカッションの流れを理解し、進行役や書記など役割を決めて、多様な意見に理解を示しながらディスカッションを行い、自分自身や参加者の評価を行う。	4	発表の様子

計 73 時間 (48 分授業)

7 課題・提出物等

- ・ 単元ごとに理解度や定着度をはかるための小テスト（朝テスト）、ワークシート（レポート）を提出することとなります。
- ・ 週末課題として、レポートを提出し、パフォーマンス課題とみなすことがあります。
- ・ 長期休業中の課題は別途指示します。

8 担当者からの一言

「論理・表現Ⅱ」は、英語を使って口頭で情報や考えをやりとりしたり、発表したり、文にまとめて書くなどの活動を通じて、英語の核となる英語の特徴やきまり、それに基本的な語句を身につけることを目指す科目です。一旦、これらを身につけてしまえば、この科目にとどまらず、英語を読んだり、書いたり、話したり、聞く力が飛躍的に高まります。ただ、すぐには身に付きません。授業だけでなく家庭学習においても、言葉を実際に使いながら、きまりや表現を身につけたり、またそれとは逆に、きまりや表現を学習してから実際に使ったりする学習法が有効です。ただ、やみくもに学習しても効果的ではありません。内容をしっかり理解し、ポイントとなる部分を意識しながら練習や学習をしましょう。ひとたび身につけてしまえば、一生の財産となります。時間や労力が必要ですが、ともに頑張っていきましょう。(担当：丸山)